広報
いまかね

発行所　今金町役場
発行人　今金町長　安部義雄
編集人　今金町議会事務局長　犬上博
印刷者　今金印刷所　内田益男



新年を迎えて

今金町長　安部義雄

輝しい昭和三十八年の新春を迎えるに当り、町民の皆様と共に心から新年の多幸を祈り、併せて年頭の慶びをお祝いしたいと思います。

顧みますと昨年は昭和三十六年に引続き再三の水害に見舞われ、その復旧対策につきましては全町を挙げて努力しておるところでありますが、その災禍の爪跡が未だ各所に生々しく残つている現状であり、一日も早く復旧を期しておりますが、更に恒久防災対策についても極力早期実現を期して関係当局と接衝を続けており、今後町民の安定した生活基盤の確立を願つて努めている次第であります。

こうした天災に対処する反面、各般の建設事業につきましても着々と進み、神丘、豊田の屋内体育館完成をはじめ、国保病院の病棟増築、看護婦宿舎の新築、その他永久橋めがね橋、花美橋二橋、木橋八橋のほか道々長万部ー東瀬棚線の改良工事、或は今金ー丹羽間の改良工事、都市計画路線の整備等、国、道、町費を以て計画が一歩一歩進められ、田代橋、稲穂橋の着工により今金町の経済動脈の整備が目睫に想起され、向に喜ばしい次第でありますが未だ各所に生々しく残つている現状であり、一日も早く復旧を期しておりますが、更に恒久防災対策についても極力早期実現を期して関係当局と接衝を続けており、今後町民の安定した生活基盤の確立を願つて努めている次第であります。

こうした天災に対処する反面、各般の建設事業につきましても着々と進み、神丘、豊田の屋内体育館完成をはじめ、国保病院の病棟増築、看護婦宿舎の新築、その他永久橋めがね橋、花美橋二橋、木橋八橋のほか道々長万部ー東瀬棚線の改良工事、或は今金ー丹羽間の改良工事、都市計画路線の整備等、国、道、町費を以て計画が一歩一歩進められ、田代橋、稲穂橋の着工により今金町の経済動脈の整備が目睫に想起され、向に喜ばしい次第でありますが、その主なるものを申上げますと、

一、道々改良工事花石ー住吉間約五千米（水車橋の永久橋架換工事を含む）
一、都市計画街路工事、市街六百米
一、新美利河橋、住吉橋、稲穂橋、田代橋の完成
一、今金ー丹羽間道々改良工事
一、住吉ブイタウシナイ川災害復旧工事の関連事業としての三ケ年計画による河川改修工事
一、目名川改修工事
一、農業構造改善事業計画の推進
一、種川開拓パイロット事業の実施
一、日進開拓パイロット事業の実施
一、奥種川農村電気事業
一、美利河、稲穂地区開拓道路改良工事
一、公営住宅、低家賃住宅の建設
一、義務教育施設の整備充実
一、消防施設の整備充実

その他等枚挙にいとまないのでありますが、これ等事業の完全実施を期して挙町一致努力してゆきたいと考えておりますので、町民各位の尚一層の御協力、御支援をこれにお願いするものであります。

斯うしたあらゆる建設事業の山積する本町にとつて昭和三十八年は更に飛躍する輝しい年として町民の皆様と共に今金町の発展興隆を心から願うものであり益々その推進を図り町勢発展の為に努力する事をお誓いするものであります。

どうぞ町民各位におかれましても徒らに過ぎし災禍の悪夢にまどわされることなく、新しい年と共にたくましい建設意欲を発揮されわたし達町民の平和な明るい町づくりの為めに男々しく前進されることをお願いしまして新年の御挨拶にかえる次第であります。

災害復旧と自治精神の昂揚について

今金町議会議長　曾我井定一



町民のみなさん明けましておめでとうございます。

ここに希望の新春を迎えるにあたり、みなさんのご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

わたくしは議長に就任以来、町民のみなさんのご支援を唯一の力として「住みよい今金町」の建設に懸命の努力をいたしておりますが、おかげをもちまして大過なく越年することができました、これは、ひとえにみなさまのご支援のたまものと、心から感謝の意を表するしだいです。

顧みますと昨年は七月災害又九号十号台風による災害に逢いせつかくの努力も皆無になり又国地を流失された方々に心からお気の毒に思います。

これは自然的な条件に支配されることの多い農業の宿命とも云うべきものであります。

町民の皆様の御協力の積重ねは、予想以上の成果を挙げ七万八千二百九十六円と白米一斗八升及び物品若干（十二月二十六日現在）に達しました。

直ちに第一次分として、生活困窮者、長期入院加療者その他の方に六万七千五百円と物品を配分いたしました。残余については第二次分として前記の対象以外のこれ等に準ずる方々に配分いたすべく準備中です。

以上簡単でありますが概略の報告を兼ねて拠出者各位の御志に深く感謝申上げます。

歳末助け合い運動に感謝して

恒例のこの運動の実施にあたりまして、昨三十七年末に寄せられた各町内、部落、又駐場、団体、学校、児童生徒の方々の心温まる

りますがこのような大被害に対して最大の効果をあげるべく努力する覚悟であります。

そこで、われわれとしては地方行政、財政の当面する問題を解決する以前の問題として、あらためて地方自治の本旨である、町民自身の自治権のうちの意志機関である議会を再認識し、抑制均衡の自治精神を昂揚し町民一体となつて自治振興に邁進したいと念願しています。

昭和三十八年こそは本町発展の年として、町政全般にわたる内容充実に最大の努力を傾注する所存でありますから、なにとぞ倍旧のご指導とご鞭撻を切にお願い申上げます。

明けゆく年が、みなさまにとりまして最良の年でありますよう心からお祈りし新年のご挨拶といたします

年頭の辞

北海道知事　町村金五

道民のみなさま、あけまして、北海道が全体として均衡のある発展をとげることに道政の最大の重点をおき、昭和三十八年の新春をお祝いできますことを、心からうれしく存じます。

私も道政をお預りしまして、ここに四度目の新春を迎えたのでありますが、任期最後の年頭の御挨拶を申しあげますことは、まことに感慨無量のものがございます。

幸い四年前にお約束申上げさせた事がらにつきましては、道民みなさまの御力添えによりまして、概ねその諸につきましたことを心から感謝申上げる次第であります。

かえりみますとこの四年間は、国の経済も道の産業もめざましい成長をとげたのでありますが、その反面新たな社会的問題が発生しまたチリ地震津波をはじめ年々激甚な災害が発生いたし、数多くの被災者がでたのであります。道政の執行にあたりましては、ここに最大の配慮をしなければならなかったのであります。

従いまして思は、道民と常に血の通つた道政を確立することが、すべての施策の前提であるとの信念に基き就任以来、青少年の健全な育成と、産業後継者の養成に特に配慮してきたところであります。道民のみなさまにおかれましても、第二期総合開発計画の完遂は全道民共通の責任あるつとめとお考えくださいましてわれわれの先人が示されたあの不屈の開拓者精神に最もそん色のない郷土愛の熱情を発揮されることを心から願ってやみません。

私も二期計画策定の責任者として、これが実現のために、新たなる決意のもとに最大の努力をつくし、この重責を全うしてまいりたいと存じます。霞かな未来に向つて、昭和三十八年は明けそめたのであります。

郷土の発展とみなさまの御多幸をせつに祈つてやみません。

農協共募へ寄託——専務川谷長一郎

曾く入院加療中であつた長谷川長一氏は、このほど平癒退院されたが、病気見舞返えしに代えて不幸な人、恵まれぬ人のためにと五千円也を寄託された。

昭和37年第4次自衛官募集

陸海空

受付年令　昭和38年3月まで随時　未満18才以上～25才未満の男女

昭和三七年九月十五日現在基本選挙人名簿確定

男　三、二八九人
女　三、五八一人
計　六、八七〇人

毎年九月十五日現在で調整する基本選挙人名簿が確定しましたのでお知らせ致します。

男三、二八九人　女三、五八一人　計六、八七〇人

この内男一三人増、女一〇九人増合計一二二人の増となつております。

納税に一層の御協力を

納税につきましては平素町民各位の御理解と御協力によりましてその成績も年々上昇しつつありますことはまことに感謝に堪えませんしかしながら本年は連続的の水害により農作物等の被害も甚大で、その影響をうけてか例年に比し納税成績も若干低下の現況にありますことは止むを得ざるものと思われますが、来るべき三十八年におきましてはこれがばん回のため一層の御協力を切にお願いいたします。（今金町税務課長）

忘れてはおりませんかっ

住民登録手続

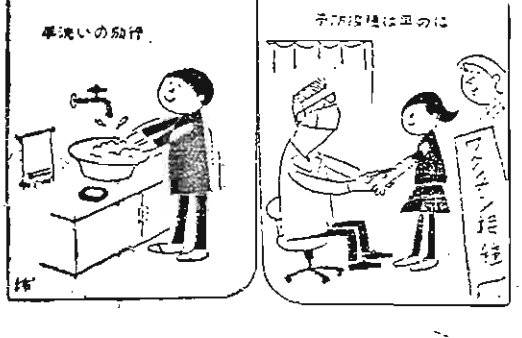
住民登録は、法律によつて定められた国民の義務です。

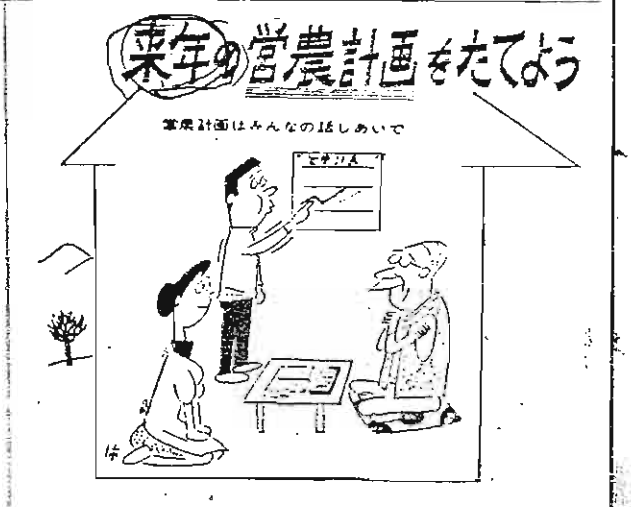
就学児童の調査、各種乳幼児の予防接種該当者調、基本選挙人名簿該当調査、この外調査の基本として用いられるものは数えきれない程利用されるものですから、転入転出、婚姻、死亡等の移動については必ず届出を忘れず行いましょう。

以上の届出はいずれも十四日以内に届出することになつており、これを守らない場合、五百円以下の罰金を支払う様な事もありますから異動事由が発生したときは直ちに届出をして下さい。

今金町は交通安全宣言町です

毎月一日は交通安全日です





国民年金について

昨年四月から実施されました国民年金の納入成績は現在のところ余り良い成績でないし済悩に存じているのです。

これには種々事情もあろうかとも存じますが他の年金に入っていない二十才以上の方は強制的に加入しなければなりません。

然しこれはあくまでも皆様方のことでありますから良く御理解願い度いと存じます。

掛金は二十才から三十五才迄毎月百円、三十五才から六十才迄毎月百五十円宛納入し政府はこの半額を積立て一定の年令又は事故の発生した場合に支給され、又町の福祉事業にもこの基金から融資されます。本町においても過般夫が急死した事により母子年金が支給される方が一人出ました。

これもこの制度に加入し掛金を一年以上納めなければ支給されないのですから必ず納入するか又は都合付かない場合は免除手続きをとる様にして下さい。

尚今金町国保病院が今年増築していますがこれに対し年金の基金から融資を受けているのです。

この融資も年金の納入成績が八十五パーセント以上でなければならない規定でありまして昨年度は幸い皆様の御協力により八十六パーセントと云う良い成績であったので決定されたのでこの点皆様に感謝している次第です。

今年度は一層の御協力によって昨年度を上廻る成績を治める様お願いします。



新有権者の皆さんえ

成人式をあげられる皆さんおめでとう。

ことしの誕生日から皆さんは名実共にりっぱな社会人として責任ある生き方を求められるわけですから、今までにもましていろいろと考えなければならないことがたくさんあります。

先づ第一に考えなければならないのは法律の上でも成年者として完全な行為能力が認められるということです。

中でも国民として最も大きな権利であるところの参政権、すなわち国会議員や知事、市町村長、市町村会議員の選挙権が得られることです。ですからこの機会にわたくしたちの住んでいる北海道や市町村、或はわが国の政治のしくみなどがどうなっているかを現実の日常生活と結びつけてぜひとも考えてほしいものです。

いうまでもなく選挙権は国民の基本的な権利でありまたその適正な行使は国民の義務でもあります。

この一票ぐらいと思って棄権したり、いい加減な投票をしたりすることは許されませんし、これによってわたくしたちの生活や日本の政治のゆくえが決まることを深く自覚すると共に、有人としての誇りと情熱をこの政治に燃やしてほしいと思います。

今年は特に地方選挙の行われる年であり数多く選挙権を行使する機会がありますから、常に政治的な教養を高め、理想選挙を実現するために、積極正しい一票を行使するよう期待してやみません。

農村青少年の冬のグループ活動

冬は、農村青少年グループにとって活動の方向をきめる大切な時期です。農業や生活の技術を研究したり、一ケ年間の活動計画を検討するなど、春の耕作業開始に焦点を合せた活動を行ないたいものです。

営農や生活についての技術も、どんどん進歩していますから、そうした技術の学習は、冬の間に十分身につけるようにしましょう。

青少年グループで行なう技術学習の研究会や、隣接のグループとの交換研究協議など、いろいろくふうして実施してください。

この場合の研修内容は、派な行事を計画しても、行事で終ってしまう恐れがあります。

もう一つたいせつな点は今年の青少年グループ活動計画を、冬の間にきちんと立てておくことです。昨年の活動内容を全員で反省して、ことしの取り組む課題をはっきり決めることが大切です。課題が決ったら、その課題を解決するための行事をできれば月別に計画したいものです。

これでは折角のグループ活動も効果が少ないと思います。すでに計画が出来ている場合でも、もう一度たしかめるようにしてください。

冬の農村青少年グループ活動は、春の営農開始に役たつものを、全員の協力で考えて実施したいものです。

グループで取組む課題がぼやけていると、どんな立

冬の交通事故を防ごう

「そり遊びの子供はねらる」。雪が降ると毎年のことながらこのような事故がおき、新聞の三面記事をにぎわせています。記事の一つ一つのかげで、いとし子を失い、柱とたのむ父、夫を失った人々が「子どもを夫をかえして」と叫んでいるのです。

わが身を守り、さらに肉身に悲しみを与えないためお互いに次の事をしっかり守り事故のない冬を過したいものです。

○車を運転する人へ

○雪道はハンドルやブレーキをまどわせます。天候と路面に注意し特にスリップを計算にいれて走ることが肝心です。

○寒いから「ちょっと一ぱい」という酒が事故のもとです。運転するときは絶対お酒を口にしないことです。

○歩行者へ

○歩行者の事故では、車のかげから急に飛び出しはねられた、というのが一番多いので、特に車のすぐ前やうしろを横切ることはやめましょう。

○雪のため歩道や車道の区別がなくなり、また寒さで動作が鈍くなりがちです。何よりも右はしを歩くことが大切です。

○お母さんへ

道路でスキー、そりあそびをさせることはいちばん危険です。

子供の遊び場所を考えてやると同時にその場所を実際に見て常に注意の目を向けることが必要です。

謹賀新年

町長　安部義雄
助役　犬上博
収入役　吉村太郎
固定資産評価員　太田籌雄

総務課

総務課長　戸沢定勝
庶務係長　古畑正勝
〃　大塚勝三
〃　阿部富子
経理係長　今野佑子
〃　木村陵子
戸籍係長（事務取扱）　戸沢定勝
〃　上田邦幸
〃　渡辺和子
管財係長　浜田邦男
運転手　平原昌美
使丁　吉太郎
給仕　小西喜子

税務課

税務課長事務取扱　太田籌雄
税務係長　生亀勇
〃　吉田英俊
〃　小西敏明

社会課

社会課長　石井政吉
国保係長　石井俊直
〃　佐々木哲也
〃　多田ハツエ
厚生係長（婦人児童）　森野庄平
〃　林田有隆
国民年金係長　白山孝
〃　下山更治
〃　富沢昭雄
〃　川島紀邦
〃　千葉玲子

土木課

土木課長　日野清輝
建築係長　小西末春
〃　佐々木春夫
土木係長　中井誠司
〃　百成茂昭

土地改良課

土地改良課長　湯浅久治
土地改良係長　野田正五
〃　要愛宕
〃　森忠雄
管理係長　高田昌
用地係長　高橋保

産業課

産業課長　久保田常次
農産係長　有賀正夫
蚕産繁開拓係長　遠藤正光
〃　係佐々木靖美
商工統計係長　亀谷文也
林務係長　佐々木
〃　小池勝利
〃　千葉由美子
〃　川村節子
〃　高田勇
臨床検査技術員　加我幸夫
レントゲン技術員　加藤図雄
運転手　黒川博
看護婦長　相川礼子
看護婦　愛宕光江
〃　藤原幸子

今金町国保病院

院長　元木賢治
副院長　落合一郎
事務長　石井俊市
薬剤士　石川浩
庶務係長　稲垣武雄
〃　係若山省三
〃　遠藤武男
〃　小池勝利
〃　千葉由美子
〃　川村節子
〃　高田勇
臨床検査技術員　加我幸夫
レントゲン技術員　加藤図雄
運転手　黒川博
看護婦長　相川礼子
看護婦　愛宕光江
〃　藤原幸子

農業委員会事務局

局長　飯田政市
係　渡辺茂

議会事務局

事務局長　重村栄吉
事務局長事務取扱　犬上博
企画係長　米世良夫
係　岡新蔵

今金町営農改善推進

栄養士　真鍋登代子
炊事婦　古旅松子
〃　工藤きよの
掃除婦　愛宕テツ子
使丁　工藤幸七
〃　山田紀代子
〃　下山京子
〃　齊下節子
〃　山本礼子
〃　佐藤絹子
〃　佐々木静子
〃　森久美子
〃　鈴木育子
〃　藤倉寛子
〃　川中礼子

今金町保育所

所長　佐藤滋子
保母　笹森陽子
〃　塩崎純子
調理士　栗谷幹子
使丁　加藤良子

今金町教育委員会

教育長　天沼義之進
総務係長　吉田辰雄
〃　岸本義仁
〃　白田壮二
〃　内藤信子
小学校使丁　馬場武彦
中学校使丁　北一郎

消防本部

常備消防士　宮谷吉治
〃　古畑正雄
〃　柳良治
〃　芳賀鈴夫

今金町監査委員

岡部広
河島五三郎

今金町選挙管理委員会

委員長　清水正義
委員　辻理
〃　相良愛光
〃　山本民吉

固定資産評価審査委員会

委員長　丸山九内
委員　岡部広
〃　庫元吉雄
〃　田中千代吉
〃　原口昌己
〃　原口掌市
〃　村上美三雄
〃　笹森武雄
〃　河端豊
〃　中島竹市
〃　伊藤綱義
〃　森川久太郎
〃　佐藤芳吉
〃　田中春吉
委員　相原成男
〃　中野喜久次郎
〃　八重樫栄三郎
〃　諸戸忠左エ門
〃　今野伝
〃　中山源一
〃　松浦武雄
〃　三津橋勝蔵
〃　田中千代吉
〃　工藤栄作
〃　水野秋一
〃　村本光夫

今金町農業委員会

会長　田中千代吉
委員　友善幸次郎
〃　佐藤末松
〃　伊藤綱義
〃　土木　鈴木正
〃　総務課長　藤村徳蔵
〃　副議長　長谷川敬一
〃　議長　曽我井定一
〃　天沼義之進
〃　細川勤三郎
〃　大西信明
〃　田中ミサオ

今金町教育委員会

委員長　有賀文平
委員　女屋儀八
〃　山崎清太郎
〃　東条利夫

今金町公平委員会

委員　南川松栄
〃　中島英喜
〃　村上美三雄

今金町公益質屋

鈴木善六

今金町議会

木村義信

今金町屠場